

## 介護保険サービス利用意向調査の調査結果について

### 1 調査概要

#### (1) 目的

要介護認定(要支援1・2、要介護1～5)を受けながら、介護保険サービスを利用していない未利用者を対象に、利用しない理由や要因について調査・分析を行い、次期事業計画の基礎資料とする。

#### (2) 対象者

下記の条件を満たす方(5,159人)の中から要介護度別に2,000人を無作為抽出した。

○平成30年6月1日を基準日として要介護(要支援)認定を受けている。

○平成30年6月1日から平成30年7月31日の2カ月間に介護保険(介護予防)サービスを利用していない。(平成30年8月以降、本調査実施時まで介護保険サービスを利用した方も含む)

(3) 調査方法 郵送による配布・回収

(4) 調査期間 平成30年11月12日(月)～11月30日(金) 19日間

(5) 回収状況 回収率 57.7% (1,154人) / 有効回答率 45.2% (904人)

介護保険サービスの未利用者の状況をより正確に把握するため、調査票が届いた時点ですでに介護保険サービスを使用している場合や死亡や転出により介護保険の資格を喪失している場合は、本調査への回答は不要とし、対象外として回収した(提出を受けた)。

	発送数	回収数	回収率	対象外数	有効回答数	有効回答率
要支援1	400	274	68.5%	20	254	63.5%
要支援2	400	251	62.8%	26	225	56.3%
要介護1	300	174	58.0%	39	135	45.0%
要介護2	300	164	54.7%	45	119	39.7%
要介護3	200	103	51.5%	33	70	35.0%
要介護4	200	93	46.5%	44	49	24.5%
要介護5	200	95	47.5%	43	52	26.0%
計	2,000	1,154	57.7%	250	904	45.2%

#### 【対象外の内訳】

対象外の理由	人数
既に介護保険サービスを利用している	182
資格喪失(死亡・転出等)	22
その他(長期入院等により回答できない)	46
計	250

### 2 主な調査結果

#### (1) 世帯状況 (問4/6 ページ)

調査回答者の世帯状況は「家族同居」の29.8%が最も多く、「夫婦ふたり(夫婦ともに65歳以上)」28.5%、「ひとり暮らし」24.2%、「世帯全員が65歳以上(親子・兄弟等)」4.3%となっている。「ひとり暮らし」、「夫婦ふたり(夫婦ともに65歳以上)」、「世帯全員が65歳以上(親子・兄弟等)」を合わせた高齢者のみの世帯は全体の57.0%となっている。

調査への回答方法を一部変更したため一概に比較できないが、平成27年度実施の前回調査では、高齢者のみの世帯の割合は全体の63.7%であった。

## (2) 家族介護者の有無 (問 5/8 ページ)

「家族介護者がいる」	61.2%
「家族介護者がいない」	29.9%

回答者全体では「家族介護者がいる割合」が6割を超えているが、ひとり暮らし世帯では「家族介護者がいる」38.4%、「家族介護者がいない」54.8%となっており、「家族介護者がいない」割合が5割を超えている。また、介護者と介護対象者(本調査対象者)の年齢の組み合わせをみると、老々介護(65歳以上の人が65歳以上の方を介護している状況)が全体の56.2%を占めている。

## (3) 介護保険サービスを利用していない理由 (問 13/20、21 ページ)

「自分で身の回りのことができるから」	34.5%
「介護してくれる人(家族など)がいるから」	17.6%
「病院に入院しているから」	13.4%
「病院への通院など、医療やリハビリを受けている」	6.1%

要支援1から要介護1までの要介護度が低いうちは、「自分で身の回りのことができる」の割合が最も高く、要介護2では「介護してくれる人(家族など)がいるから」、要介護3以上になると「病院に入院している」の割合が最も高くなっている。

割合は低い「介護保険サービスの使い方が良く分からない」が3.8%との回答もあった。

## (4) 今後の介護保険サービスの利用意向 (問 16/24 ページ)

「自宅で生活しながら介護サービスを受けたい」	43.0%
「施設などに入所(入居)して介護サービスを受けたい」	11.2%
「わからない」	33.1%

自宅での生活を希望している方が4割以上である一方で、「わからない」33.1%と「無回答」12.7%を合わせると45.8%となり、今後の希望や予定が決まっていない方も多い。

## (5) おとしより相談センターの利用 (問 18/28 ページ)

「利用したことがある」	42.4%
「利用したことがない」	40.3%
「知らない」	8.4%

平成27年度実施の前回調査では「利用したことがある」44.5%、「利用したことがない」39.6%、「知らない」15.8%だった。利用状況に大きな変化は見られないが、センターを「知らない」割合は下がっている。

## (6) 介護への負担感(家族介護者への質問) (問 23/36 ページ)

「負担を感じる」	39.3%
「負担を感じない」	21.2%
「どちらともいえない」	22.8%

介護を負担に感じる割合を要介護度別にみると、要介護2から要介護4まではいずれも5割を超えて高くなっている。また、1日の介護時間が長くなるにつれて、負担に感じる割合が高くなる傾向がある。介護内容別にみると、生活介護より身体介護に対する負担感が高くなっている。

(7) 介護を負担に感じていながら、介護保険サービスを利用しない理由 (問 23-1/38 ページ)

「本人が利用したがない」	44.3%
「家族が看るのが当然」	30.5%
「できるだけ他人の世話になりたくない」	17.8%
「使い方がよく分からない」	15.5%

「その他」の意見も 16.7%あり、家族が同居しているとサービスが使えない(利用できるサービスが少ない)との意見が多くあった。

(8) 介護している方にとって重要なこと (問 24/39 ページ)

「家族や親族の協力があること」	52.8%
「緊急の場合など、安心して医療サービスを利用できること」	43.3%
「緊急の場合など、安心して介護保険サービスを利用できること」	41.3%
「日頃から、本人の心身の衰えを防ぐ介護予防を心がけること」	35.2%

要介護度別にみると、要介護3、要介護4では「緊急の場合など、時に安心して医療サービスを利用できること」の割合が最も高く、他の要介護度では「家族や親族の協力があること」が最も高い割合となっている。

### 3 調査結果を踏まえた課題等

- 要介護認定を受けながら、介護サービスを利用していない理由(問 13)は「自分で自分のことができる」(34.5%)、「介護してくれる人(家族など)がいる」(17.6%)、「病院に入院している」(13.4%)、「病院への通院など、医療やリハビリを受けている」(6.1%)、「元気になり、介護保険サービスが不要になった」(4.1%)を合わせると 75.7%となっており、「介護保険サービスの利用料金が負担」(2.2%)や「介護保険事業者に不満(不信感)を持っている」(0.9%)との回答は少なかった。

一方で「介護保険サービスの使い方が良く分からない」との回答が全体で 3.8%、ひとり暮らし世帯では 6.4%あった。要介護認定を受けてからサービスを利用するまでの流れをご本人や家族に丁寧に周知していくことや、認定を受けた後、すぐにサービスが必要ではなかった方でも必要になった時にスムーズに利用が開始できるように、かかりつけ医の協力を得ながら、地域やおとしより相談センターなどが連携して見守る体制づくりを進めていく必要がある。

- 「介護してくれる人(家族など)がいる」ことを理由に、介護保険サービスを利用していないとの回答は全体としては 17.6%であったが、世帯状況別にみると、65 歳以上世帯(親子・兄弟等)では 38.5%、家族同居世帯では 24.9%を占めており、家族介護が未利用者を支えている状況がある。

しかし、介護者自身が 65 歳以上の高齢者である老々介護の割合は 56.2%、介護者が介護に負担を感じている割合も 39.3%と高くなっている。家族介護者が過度な負担を背負い込むことなく、介護保険サービスを上手に活用しながら生活していけるよう、各介護保険サービスの内容や利用例などの周知・広報、介護を担う家族に対する相談体制の充実を図っていく必要がある。